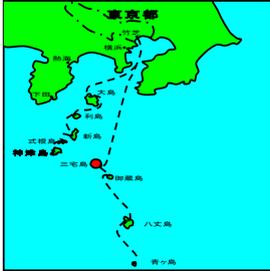


火山砂防事業の効果

新技術・新工法

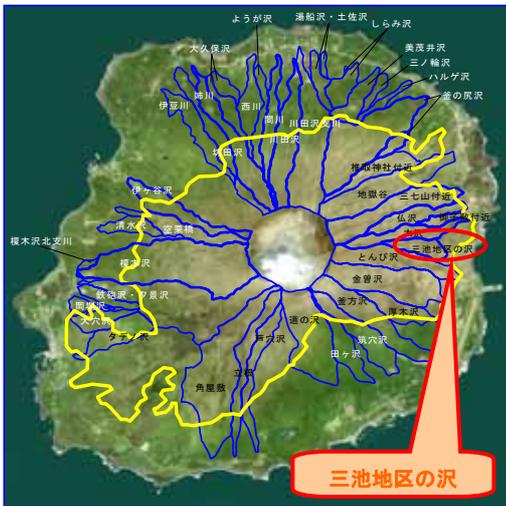
無人化施工の本格的導入

〈 東京都 三宅島 三宅村坪田 三池地区の沢(みいけちくのさわ) 〉



事業概要

平成12年7月に始まった三宅島雄山の噴火により流域内に降灰がもたらされ、それが流下することによって下流で泥流災害が発生し、公共施設等が甚大な被害を受けた。また、火山ガスが活発に噴出しており風下の窪地では有毒の火山ガスが滞留しやすく、たびたび作業の中断を余儀なくされ復旧工事に影響が出ていた。三宅島の風向きは主に西ないし南西の方向であり、特に風下の坪田三池地区では、火山ガス濃度が高い傾向にある。このため、基準値を超える濃度の火山ガスが検知された場合には有人機械施工から無人化施工に切り替えて工事を行う緊急火山防災対策の推進を図った。



H12.8.10 雄山噴火



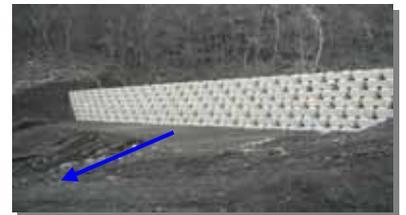
三池地区 土砂流出状況

火山ガスの影響に左右されることなく工事を進め、度重なる泥流を早期に抑止し、下流集落への重大な被害の発生防止に貢献！！

★H12災害関連緊急砂防事業により実施
迅速な復旧及び地域の復興に大きく貢献



無人化施工状況
(霞んで見えるのは火山ガスの滞留)



完成後の堆砂状況